



駿東伊豆消防組合

議会だより

NO.14 令和2年3月発行



東京2020オリンピック・パラリンピック 自転車競技会場 伊豆ベロドローム

災害対応訓練



目次

- 2月定例会の概要……………P2
- 議案質疑…………… P3
- 一般質問…………… P4
- 令和2年度予算概要 …… P6

駿東伊豆消防組合 構成市町

沼津市 ・ 伊東市 ・ 伊豆市 ・ 伊豆の国市 ・ 東伊豆町 ・ 函南町 ・ 清水町

駿東伊豆消防組合議会 定例会が開催されました。

令和2年第1回駿東伊豆消防組合議会定例会議事日程

令和2年2月6日（木曜日）午後2時00分 開会

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 諸般の報告
- 第 3 会期の決定
- 第 4 認第 1号 監査委員の選任について（識見を有する者）
- 第 5 議第 1号 静岡県市町総合事務組合規約の一部変更について
- 第 6 議第 2号 駿東伊豆消防組合手数料条例の一部改正について
- 第 7 議第 3号 令和元年度駿東伊豆消防組合会計補正予算（第2回）について
- 第 8 議第 4号 駿東伊豆消防組合基金条例の一部改正について
- 第 9 議第 5号 令和2年度駿東伊豆消防組合会計予算について
- 第10 消防行政に対する一般質問
- 第11 議会運営委員会の閉会中の継続調査



< 議案一覧 >

< 駿東伊豆消防組合管理者提出議案 >

議案名	内 容	議決結果
認第1号 監査委員の選任について （識見を有する者）	本組合監査委員の任期は、駿東伊豆消防組合規約第13条第2項により、識見を有する者から選任される監査委員は4年となっています。この度、識見を有する監査委員から退職願が提出されたため、新たな監査委員について、地方自治法第196条第1項の規定に基づき、議会の同意を求めるものです。	同意
議第1号 静岡県市町総合事務組合規約の一部変更について	本案は、静岡県市町総合事務組合からの通知により、静岡県市町総合事務組合規約の一部変更を行うため、構成団体において、議会への議案提出を求められたものです。	可決
議第2号 駿東伊豆消防組合手数料条例の一部改正について	本改正は、平成25年10月3日に総務省消防庁から「震災時における危険物の仮貯蔵・仮取扱い等の安全対策及び手続きについて」が通知され、手数料の減免措置等が示され、また、令和元年10月23日に「令和元年台風19号に対応した消防関係手数料の減免措置について」が通知され、消防法第11条の規定により危険物施設の設置・変更許可を求める場合にも、その手数料の徴収については、これを行わないことができることが示されました。本組合においても、今後南海トラフ大地震等の発生や台風等の自然災害により同様の事態が想定されることから、危険物に係る手数料の免除措置について、所要の改正を行うものです。	可決
議第3号 令和元年度駿東伊豆消防組合会計補正予算（第2回）について	本補正予算案は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ655万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ63億2,829万3,000円とするものです。	可決
議第4号 駿東伊豆消防組合基金条例の一部改正について	本改正は、駿東伊豆消防組合規約が構成市町の協議により、令和元年11月に変更され、個別経費であった消防署所の運営に係る経費が、共通経費化されたことに伴い、所要の改正を行うものです。	可決
議第5号 令和2年度駿東伊豆消防組合会計予算について	令和2年度歳入歳出予算の総額は、それぞれ62億855万6,000円と定めるものです。本予算は、前年度当初予算と比較すると1,030万円の増額となりますが、増額の主な理由は、平成29年度及び平成30年度起債の元金償還、オリンピック、パラリンピック競技大会の警備関連経費や人事院勧告による人件費などによるものです。	可決

議第5号 令和2年度組合会計予算について

重岡秀子 議員

- ・消防資機材整備事業について
- ・分担金及び負担金について

山田直志 議員

- ・オリンピック・パラリンピックの警備体制について
- ・オリンピック・パラリンピックの財源措置について

議案質疑

第一回定例会では、二人の議員から質疑がありました。

重岡秀子 議員

問 消防資機材整備事業の消防ホース・空気ボンベ等、水難救助資機材及びオリ・パラ競技大会関連資機材はどのような資機材で、予算額はいくらか。

答 消防救急課長 消防ホース・空気ボンベ等については、消火活動に使用する消防用ホースが241本で868万2,300円、空気呼吸器用の空気ボンベが44本で677万6,000円、無線機が4台で96万4,050円、その他AED等で65万7,580円を計上。

水難救助資機材については、ウレタンボート及び船外機一式で393万4,150円、水難救助用訓練人形等の水難救助用備品で146万1,400円、潜水器具が6セットで115万6,320円を計上。

オリ・パラ競技大会関連資機材については、テロ災害発生時の消防活動に万全を期するため、必要

な資機材を4項目予算計上した。

1つ目としてテロ災害へ迅速に対応するための化学剤検知器として気体用1台、個体及び液体用1台の合計2台が2,392万5,000円。

2つ目として、化学剤に汚染された負傷者や活動隊員を洗浄するための除染シャワー2セットが506万円。

3つ目として、多数の傷病者を一時的に収容するためのテント8張りが369万6,000円。

4つ目として、化学剤などの危険物資が蔓延している現場で活動するための陽圧式化学防護服6着が180万8,400円である。

問 第3方面に水難救助隊を配置するとなっているが、第1方面や第2方面にはすでに水難救助隊があるのか。

答 消防救急課長 第1方面及び第2方面においては、組合発足前から水難救助隊を設置している。



問 分担金及び負担金の状況の中で増額が大きい市町とそうでない市町があるが、その要因について伺う。

答 消防部長 主な要因としては、予算額の81.51%を占める人件費が大きく影響している。

具体的には、組合発足後に採用した職員は共通経費として、構成市町の負担割合により負担していただくが、組合発足前に採用された職員の人件費は、採用元の市町が個別経費として負担していることから、当該年度における退職者数の違いにより、市町の負担額の増減が発生する。

問 負担額の大きい清水町は退職者が少なく、負担額が大きくない沼津市は退職者が多いということの中で、新規採用職員21人分の人件費をそれぞれが負担しているからという理解でよろしいか。

答 消防部長 清水町は退職者がなく、沼津市は退職者が多いことが大きな要因である。

問 オリ・パラ競技大会の警備体制は、人員と車両・機材でどのような対応が取られるのか。

答 警防救急課長 警備体制については、消防本部内に警備本部を設置するとともに会場施設に、現地警備本部を設置し、現地における警備の指揮及び関係機関との連携体制を確立する。

車両については、会場施設に非常用の消防車及び救急車を配備し、機材については、オリ・パラ競技大会関連資機材を整備することにより、テロ災害等に対応することとしている。

問 オリ・パラ関連支出とそれに対する国等からの財源措置はどうなっているのか。

答 警防救急課長 関連支出として、人件費639万7,506円を計上、資機材の消耗品等の経費として、306万8,926円を計上、テロ災害対応用資機材については、全額県補助となっている。

一般質問

第一回定例会では、二人の議員が消防行政について質問しました。

消防行政ここが聞きたい！

主な質問項目

杉村 清 議員

- ・南海トラフ巨大地震に対する緊急消防援助隊について
- ・職員の給与統一における対応について

山田直志 議員

- ・通勤時間の改善について

問 緊急消防援助隊として応援に来る都道府県とその登録数は。また、登録されている隊数が全て応援に来るのか。

答 警防救急課長 静岡県の応援に派遣される都道府県は、即時応援都道府県大隊として青森県、岩手県、山形県及び埼玉県の4県、被害確認後応援都道府県大隊として茨城県、千葉県、東京都及び神奈川県、4都県で合計8都県の大隊が派遣され、8都県の合計登録数は1,692隊である。

実際に応援派遣される隊数は応援側都県の災害対応状況や各消防本部の事情により決定されるため、登録隊が全て派遣される訳ではない。

問 伊豆半島の西側と東側に管轄区域があり、消防力を分散しなければならぬことから、多くの人的支援が必要と考えられるが対応は可能か。

東部地区においては、東部総合庁舎に東部方面調整本部が設置され、本消防組合の職員を構成員として派遣し、大隊の割り振り等を行うことから、対応は可能であると考えられる。

問 緊急消防援助隊の宿营地は確保できているか。

答 警防救急課長 本消防組合管内の宿营地は、沼津市の県立沼津城北高校、清水町の卸団地組合会館、函南町の狩野川東部浄化センター、伊東市の伊東競輪場東口駐車場及び伊豆町の旧アスド会館を指定している。



問 警察・自衛隊も都道府県からの派遣があると思われるが、駿東伊豆消防本部との相互連携は可能なのか。

答 警防救急課長 東部地区における関係機関との調整については、「東部方面調整本部」に県、市町、消防、警察、海上保安庁、自衛隊、ライフライン各社の連絡員が派遣されることになっており、毎年1月と8月に合同訓練を実施することで顔の見える関係を構築していることから情報の共有、活動支援等の相互連携は可能であると考えている。

問 職員の給与の統一について、どのように認識しているか。

答 消防部長 職員の給与の統一については、旧田方地区消防組合職員以外の組合発足前に採用された職員は、構成市町の行政職員との均衡を図る必要があるため、組合で勤務する全ての職員間の給与の統一を図ることは困難であると認識している。

問 職員のモチベーションを高く保つための対策等はされているのか。

答 消防部長 火災出動や救急出動をはじめとした消防業務に応じた支給する特殊勤務手当については、同じ業務を行うことに對して支給される手当であることから、職員の意欲を高く保つために、平成29年4月に統一し、併せて、休日勤務手当や時間外勤務手当の支給についても統一した。

問 現在、組合の条例に基づいて統一された給与を支給されている職員は何人いるか。また、そのうち、広域化後に採用された職員は現在何人いるか。

答 消防部長 平成31年4月1日現在、組合の条例に基づいて統一された給与を支給している職員は303人で、うち、組合発足後に採用した職員は95人となる。



山田直志 議員

問 職員の通勤時間はどのような状況か。0～30分、30～60分、60～90分、90分以上の区分で説明されたい。

答 消防部長 組合発足以降、通勤時間についての統計は取っていないことから、御質問に対する資料はない。

問 組合になってから各年度に職員の通勤中の交通事故はないか。

答 消防部長 平成28年4月の組合発足以降、通勤中の交通事故は、平成28年度に6件、平成29年度に10件、平成30年度に8件、令和元年度は本日まで13件発生している。

問 通勤時間60分を超える職員の心身の健康状態はどうか。

答 消防部長 通勤時間60分を超える職員に関する資料がないため対象となる職員は把握していないが、全職員を対象とした健康診断及びストレスチェックを定期的の実施し、対策を講じている。

問 長時間の通勤時間の解消について、改善の考えはあるか。

答 消防部長 効率的な組織運営を図るためには、職員を適材適所に配置する必要があることから、通勤時間が長くなることはやむを得ないことと考えているが、職員からの意見等を踏まえ、改善の必要がある場合は検討していく。

問 長時間の通勤は、心身の健康を害するということは広く知られている。消防組合として、職員の現状を把握し、統計も取って、今後の職員の心身の健康管理を是非やっていただきたいかがか。

答 消防部長 職員がストレスを感じているようであれば、統計を取ることも含めて、その対応について検討していきたいと考えている。

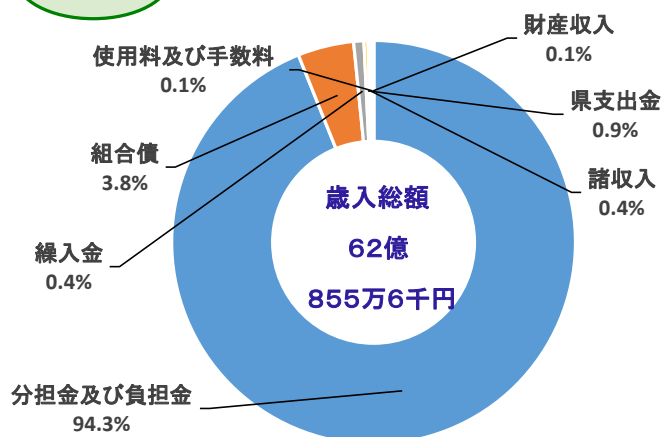


令和2年度予算を可決しました！

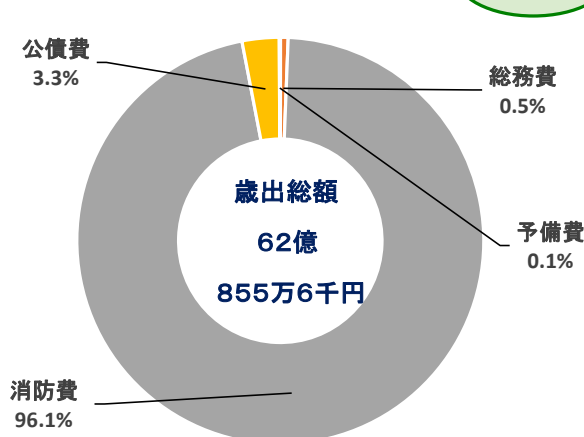
総額62億855万6千円

令和2年度予算額	令和元年度予算額	比較増減額	伸び率
62億855万6千円	61億9,825万6千円	1,030万円	0.17%

歳入



歳出



歳入

歳出

(単位:千円)

款 別	歳入予算額	構成比	款 別	歳出予算額	構成比
1分担金及び負担金	5,851,748	94.3%	1議会費	1,141	0.0%
2使用料及び手数料	6,598	0.1%	2総務費	33,000	0.5%
3国庫支出金	200	0.0%	3消防費	5,964,520	96.1%
4県支出金	58,646	0.9%	4公債費	204,895	3.3%
5財産収入	4,294	0.1%	5予備費	5,000	0.1%
6寄付金	1	0.0%	合 計	6,208,556	100%
7繰入金	23,789	0.4%			
8繰越金	6	0.0%			
9諸収入	26,274	0.4%			
10組合債	237,000	3.8%			
合 計	6,208,556	100%			

※構成比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

令和2年度予算の重点事業を紹介します。

- 令和2年度は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が、管轄地域内で開催されることから、消防としての万全な警備体制を構築することにより、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に貢献します。
- 車両整備事業として、高規格救急自動車3台を更新整備し、増加傾向にある救急需要への対応強化を図るとともに、高度救助隊に配備されている老朽化の激しい救助工作車を更新整備します。さらに、第3方面に未設置であった水難救助隊を令和2年度内に設置するため、水難救助車を整備し、救助事業への対応強化を始め、消防活動体制の充実・強化を図ります。

